

始めの一步。川を歩こう。 米川を活かしたまちづくり

米川を歩く会

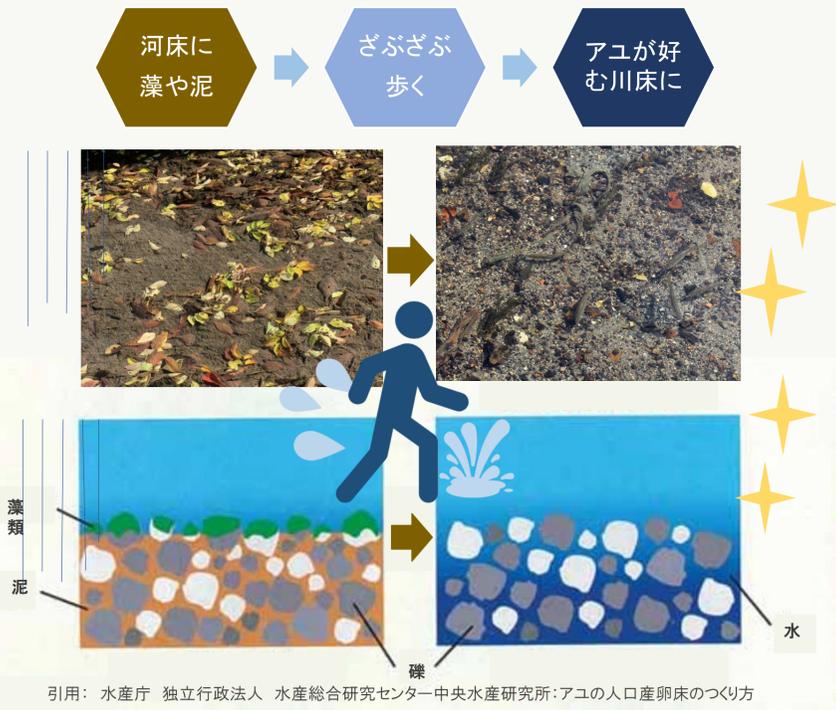
滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科

安田希亜良 屋宜詩乃

私たちは、身近な川を歩くことを提案します。
川を歩くといいことがいっぱいあります。

イコト①: 生物多様性に寄与

○鮎の産卵場ができる



米川には、小鮎が泳いでいます。鮎は、きれいな礫が、浮き石状態になっている川底でよく産卵します。よって、川を歩いて、泥や藻を取ることで、小鮎が産卵しやすい河床を作ることができます。

↓重機で産卵場を造成している様子



天竜川天然資源再生連絡会 まるっと天竜川:アユ産卵床造成実験

左図は、鮎の産卵場所を作るために河床を耕うんしている様子ですが、こうやって重機を使わなくても、手や足で、耕うんできます。

また、鮎は早瀬に卵を産みやすいので、川の流りに動きを作ってあげることも効果的。



○バークエで自然豊かな川づくり



川の中に、土嚢などを積むだけで、川の流りに変化が生まれ、魚の産卵場所を作ることができます。また、土砂や栄養が堆積し、生物の生育場ができます。例えば、蛍のエサであるカワニナの生息場になります。蛍が飛び交うのも夢じゃないというわけです。

イコト②: 川を好きになる!

川を歩くことは、川に興味をもつきっかけになります。なぜ米川の水はこんなにきれいなのか? いけすって何? もっと魚やホタルを増やすにはどうしたらいいの? などなど。

そこで、米川を歩いて知ったことをご紹介します。

○米川の水が綺麗な理由



米川には、湧き水が流れているからです。米川は扇状地にあり、扇状地の先端部分からは水が湧きやすいのです。こういう所を守っていく必要があります。

○洪水の被害にあわないための工夫

さらに上の地図を詳しく見ると、昔の集落が、高台にあることがわかります。洪水から身を守るために、川をコンクリートで固めるのではなく、自分たちが川に合わせて住んでいたのです。

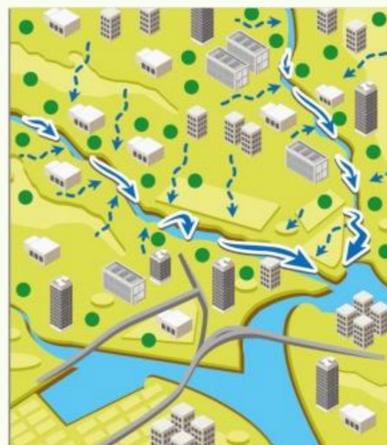
○河道内貯留の活用・再生

洪水を防ぐ工夫は川の中にもあります。いけすです。洪水で流量が増加したときに、水が一旦退避できる場所になります。

自分たちの住む町の地形や先人の知恵を知ることが、自分たちの町の安全につながります。



○グリーンインフラ



森本幸裕: 東京五輪会場の海洋汚染問題/雨庭という解決策

<https://www.huffingtonpost.jp/shinrinbunka/rain-garden_a_23364052/>

コンクリートで固められた駐車場などを、土や砂利にすることで、降雨時に一時的に水を貯留することが可能になり、川の氾濫を防ぐことができます。

出典) グリーンインフラ研究会・三菱UFJリサーチ&コンサルティング・日経コンストラクション編, 決定版! グリーンインフラ, 日経BP, 2017

特集記事「社会問題を丸ごと解決「グリーンインフラ」」, 日経コンストラクション2016年7月25日号
PUB, Singapore's National Water Agency

B-3 NPO 法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)

活動のキーワード

- ① 特定外来生物オオバナミズキンバイ ② 大学生 ③ 除去・啓発活動

発表内容

南米原産の特定外来生物であるオオバナミズキンバイは、琵琶湖や瀬田川に生育しており、繁殖力が非常に強く、漁業、水質、在来種などへの悪影響をもたらしています。この外来水草は、分布地点を広げており、近年では鴨川や淀川でも生育が確認されています。IVUSA ではこの問題に対して、行政、地域環境団体、漁協や企業と連携した除去活動と啓発活動を展開しています。今回の発表では、2020 年度に取り組んだ鴨川での除去活動やコロナ自粛期間中に行ったオンラインツールを用いて作成したパンフレット、来年度の展望などを紹介したいと思います。

活動中の川や水辺の名称

一級河川 琵琶湖・瀬田川・鴨川（淀川水系）長浜・守山・大津・京都市

活動内容

特定外来生物オオバナミズキンバイの除去活動・啓発活動

よいとこ探しキーワード メモ！



大学生のパワーと元気で河川を守る！！

侵略的外来水草オオバナミズキンバイ

- ・南米原産の外来水生植物
- ・2009年に滋賀県守山市赤野井湾で発見
- ・繁殖力の強さから、2014年に**特定外来生物**に指定
- ・近年は京都府鴨川・大阪府にも繁殖範囲を拡大

■主な特徴

特徴① **繁殖力が強い**



4か月後

特徴② **再生力が強い**



小さな茎の破片からも再生

特徴③ **水陸両性**

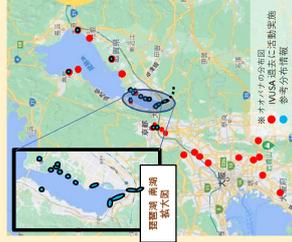


水面だけでなく、陸地にも繁殖



オオバナミズキンバイ
マスコットキャラクター
ハチケンくん

■オオバナミズキンバイの分布



京都府や大阪府にも繁殖地域を拡大しているんだぜ！！



閉塞された河川



動けなくなっている船

実績・成果

これまでの
活動回数 → 約60回
参加者数 → 約12,000人
総除去量 → 約360トン

学生の若い力でオオバナを元気に除去！これまでに培ってきたノウハウと経験を活かし、周りと一緒に活動を行っています。

■除去活動

- ・2020年には、京都府・滋賀県にて計8回
- ・京都府の鴨川では初めてIVUSA主催で除去活動を実施
- ※活動中は感染対策を徹底



根こそぎ除去！

■オンラインでのリーフレット作成



ZOOMを使用して、オオバナの認知度向上のために、子供から大人まで親しみやすいリーフレットの作成を行いました！

様々なセクターとの協力



鴨川のオオバナも、対策が選ばれると琵琶湖のように被害が莫大となってしまふ。学生の力で鴨川の美しさを守りたいという想いを胸に、IVUSAは活動を行っています！！



大切なポイント

早期発見・早期除去

- ★早期発見ができなければ…
- ・オオバナの大繁殖
- ★早期除去ができなければ…
- ・機械を導入した除去
- ・地面を掘り返しての根こそぎ除去
- ・乾燥させるための仮置き場所の確保
- ・焼却や埋立て処分への負担

→琵琶湖では外来水草対策に年3億円以上の予算負担

今後の展望

- ・滋賀県・京都府向けのオオバナ小冊子の作成・配付
- ・鴨川全域へのオオバナ除去活動の展開



B-4 瀬田川ベース

活動のキーワード

- ① 瀬田川 ② 宇治川ライン ③ 遊覧船

発表内容

昭和 50 年頃まで、瀬田川の下流には観光を目的とした遊覧船が運行していました。大津市石山外畑町から天ヶ瀬ダムまでを結ぶその航路は多くの観光客であふれ、大津南部の観光スポットとして県内外からたくさんの方が訪れました。しかし、価値観の変化により観光客が減少しその運航も無くなってしまいました。運航が無くなってからは、時代の経過と共にその事を知る人も少なくなっています。そのため、当時船長をしていた井谷氏に当時の様子や人々の川との親しみ方の聞き取りを行い、絵本にまとめましたのでその様子をご報告いたします。

活動中の川や水辺の名称

瀬田川

活動内容

河川にまつわる地域の歴史や人との関わりを記録し、伝える活動をしています。

よいとこ探しキーワード メモ！



瀬田川ベース 活動紹介

中井 大介

【瀬田川にまつわる思い出や写真をお持ちですか？】

はじめに

瀬田川はその周辺の人々の暮らしに深く関わってきました。その関わり方は時代の流れとともに変化し、人々の記憶から忘れ去られようとしているものもたくさんあります。そこで、私たちは瀬田川を中心に、その周辺で暮らす人々の思い出を聞き記録する活動を始めました。この活動を通し、先人たちの川との関わり方を知り、将来的にまちづくりを共に議論できる仲間を増やしたいと思っています。



現在の屏風岩（大津市大石）

これまでの活動



これまで、戦後から昭和 50 年頃までの昔の写真とそれにまつわる思い出の聞き取り調査を行ってきました。暮らしの中にある瀬田川の風景や、瀬田川の変化（天ヶ瀬ダム建設など）に伴う暮らしの変化など、その場に居合わせた生の声を記録することができました。そして、その一部は「懐かしの瀬田川写真展」（2018 年・大津市）として開催しました。写真展では写真を展示するだけではなく、聞き取り調査を一緒に行い、写真をきっかけにさらなる情報収集を行いました。その中で、「聞かれるばかりではなく、孫や子供たちと話ができれば…」というご意見があり、思い出の一コマを別の形にできないかと考えました。

今回の活動

そして今回は「宇治川汽船」に注目し、当時の遊覧船船長をされていた井谷義夫さんからお話を伺いました。宇治川汽船は昭和 52 年まで大津市石山外畑町から天ヶ瀬ダムまでの間で遊覧船を就航しており、観光スポットとして多くの観光客を集めました。現在ではその面影を残すところはほぼなくなっています。お話では、今では想像もできないような盛況ぶり、そこに息づく人々の風景があり、その様子を多くの世代で共有できることを目的に絵本として制作しました。今後はこの絵本で、当時の子供たちと現在の子供たちをつなぐきっかけにしていきたいと考えています。



絵本「ちどり丸」の一部

B-5 日本河川・流域再生ネットワーク

活動のキーワード

- ① 自然再生 ② 協働 ③ 地域づくり

発表内容

自己調達できる資金規模で、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に参加し、時には失敗をしながらも活動の効果が短期間で目に見える「小さな自然再生」の取組みが、滋賀県をはじめ全国の河川や水辺で行われています。

この「小さな自然再生」が全国あちこちの水辺で活発に取組まれる社会の実現を夢見て、全国の素晴らしい事例を集約し、広く普及し、また仲間を繋げながら、川づくりの担い手を増やし育てていく私たちのこれまでの挑戦を紹介したいと思います。

活動中の川や水辺の名称

日本全国

活動内容

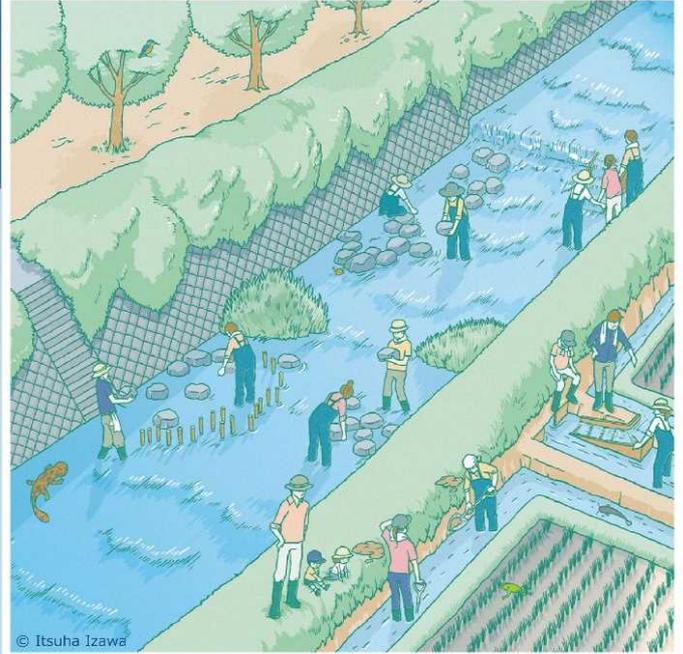
川づくりの普及活動

よいとこ探しキーワード メモ！



Collaborative Nature Restoration できることから始めよう 水辺の小さな自然再生

日本河川・流域再生ネットワーク / 公益財団法人リバーフロント研究所



© Itsuha Izawa

“小さな自然再生”とは？

～みんなで発案・協働し、手づくりの技で、生物の生息・生育環境を回復します～

【小さな自然再生の定義】

次の3条件を満たす取組みを「小さな自然再生」と定義しました。

- ① 自己調達できる資金規模であること
- ② 多様な主体による参画と協働が可能であること
- ③ 修復と撤去が容易であること

【小さな自然再生の波及効果】

- 地元への愛着の醸成（郷土愛）
- 自然との対話を通じた地域の課題の学び（環境教育）
- 地域住民の交流が活発化（地域再生）

水辺でできる“小さな自然再生”の種類や事例は？

～類型&工法と全国の様々な挑戦を紹介します～

類型	目的	工法の例
生息場の保全創出 (生息場、餌環境、産卵場)	瀬・淵の形成	各種の水制、バープ工法、早瀬工、瀬淵工、巨石置石工
	ワンド・たまりの形成	スコップなどで掘る、水制を設置して河岸を削らせる
	水際部の形成	バープ工法、部分拡幅工法
連続性・連結性の回復	大空隙を有する生息場	ワナギの石倉、捨て石工
	濁水時の避難場となる淵	ブロック設置による局所洗掘
人為的な攪乱	落差解消による遡上・降河	小わざ魚道
	川と農業水路、農業水路と水田	小わざ魚道、水田魚道
産卵場の造成（シロウオ、アユ、サケ等）	チヌシジリ	チヌシジリの発芽を促す人為的攪乱
	植物シードバンク	植物シードバンクのリフレッシュ



神奈川県・黒須田川でのバープ工による多様な流れ創出



兵庫県・住吉川での水辺の小わざ魚道



全国の先進的な事例を届けるため、『できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第2集』を2020年3月に発行し、14事例を紹介させて頂きました。

“小さな自然再生”を更に全国に拡げるには？

～仲間を増やし、経験を伝え、技を高め、担い手を育てます～

2014年6月
研究会設立

2015年3月
事例集発行

2016年3月
ホームページ開設

2017年3月
リーフレット発行

2018年3月
動画公開

2019年3月
データベース公開

2020年3月
事例集 第2集 発行

小さな自然再生の事例（地図から検索）：34か所

機能

仲間を増やす
経験と共有
技術の体系化
担い手支援

取組み

ネットワーク構築⇒研究会を設立
仲間が集う場づくり⇒サミットを開催
全国の拡がりの可視化⇒事例データベースを公開
各種ツールの充実化⇒事例集や動画を制作
事例の収集・整理・分析⇒事例レビューを実施
議論の場づくり⇒自由集會を開催
技術の指針となる手引きの用意
専門家派遣や相談窓口設置⇒職員研修を支援
現場研修の機会づくり⇒現地研修会を継続開催

「小さな自然再生」現地研修会のシリーズ開催（第1回 愛知・岩本川 ～ 第11回 京都・美山川）

今後の展開は？ ～小さな自然再生を全国の川づくりに実装していきます～

- 全国の担い手のネットワーク化（連携・協働体制構築）
- 地域課題に柔軟に対応できる技術の体系化（要素技術や効果検証法の確立）
- 支援機能の充実（サポート窓口、専門家派遣、研修プログラム etc.）
- 普及啓発促進（拡がりの可視化やツール充実化等のアウトリーチ）



謝辞



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

本活動は、「小さな自然再生」研究会及び各現場の河川管理者や川づくりの担い手の協力、また公益財団法人河川財団の河川基金の助成を得ながら取り組んでいます。
(2021年2月)

C-1 淡海を守る釣り人の会

活動のキーワード

- ① 滋賀セブンの森 ② 4者協定 ③ SDGs

発表内容

淡海を守る釣り人の会は2019年、セブン-イレブン記念財団・滋賀県・守山市の4者で琵琶湖の環境保全・地域振興を目的に10年の協定を結びました。2019年に1度、2020年はコロナ禍ではありますが関係者のみで2度開催し清掃活動と小さな自然再生の2つのテーマで活動しました。淡海の川づくりフォーラムに育てていただいた当会の活動の経過をご報告させていただきます。

活動中の川や水辺の名称

守山市 今浜町

活動内容

清掃活動・小さな自然再生

よいところ探しキーワード メモ！



滋賀セブンの森

セブンイレブン×滋賀県×守山市×釣り人



活動写真



淡海を守る釣り人の会は、釣り人が主体となり多様な団体や個人の方とパートナーシップで琵琶湖のゴミ問題などに取り組む活動をしています。

2019年11月に滋賀セブンの森事業として、セブンイレブン記念財団・滋賀県・守山市と環境保全と地域振興を目的とした10年の協定を締結。2020年はコロナ禍で縮小開催となりましたが、産官学民が連携して清掃活動と水辺の小さな自然再生を2度おこないました。

第1回滋賀セブンの森ゴミ回収結果

- 参加約350名(内釣り人215名)
- ◆可燃ごみ67袋 不燃ごみ40袋
- ◆缶・ビン10袋分
- ◆ペットボトル1110本
- ◆カップ型容器270個
- ◆レジ袋は正確に計測出来ず

第2回滋賀セブンの森ゴミ回収結果

- 参加47名(内釣り人39名)
- ◆可燃ごみ39袋
- ◆缶・ビン5袋分
- ◆ペットボトル700本
- ◆カップ型容器90個
- ◆レジ袋120枚

第3回滋賀セブンの森ゴミ回収結果

- 参加85名(内釣り人74名)
- ◆可燃ごみ43袋
- ◆缶・ビン5袋分
- ◆ペットボトル780本
- ◆カップ型容器60個
- ◆レジ袋350枚

※ゴミの処分は守山市にご協力頂いています。

参加団体・個人

セブン-イレブン記念財団、滋賀県、守山市、セブン-イレブン・ジャパン、滋賀県立大学、立命館大学釣り同好会、水辺に学ぶネットワーク、琵琶湖環境科学研究センター、琵琶湖アローズ、haconywa、龍谷大学釣研究会、Apple、Biwacompass、3Rヒーロー、近畿地方整備局、県議会議員、神戸大学、毎日新聞、日本たばこ産業 (順不同)

活動のキーワード

- ① 小さな自然再生 ② バーブエ ③ 落ち葉

発表内容

少ない費用で、誰でも気軽に参加できて、やり直しや撤去が簡単で、活動の効果が短期間に見える、そんな取り組みが「小さな自然再生」として注目されています。

今回の取り組みでは、川の中に石を積んで落ち葉を溜めるためのバーブエを造りました。川に落ちた葉っぱは分解されて、様々な水生生物の餌になります。水生生物が増えると、それを魚が食べます。落ち葉は、河川の生態系にとっても重要な役割を果たしているのです。そんな森からの恵みが、流れて行っちゃうのはもったいない。だからバーブエで流れの遅いところをつくって、落ち葉を川に溜めよう。川と森の繋がりの大切さや、バーブエ造りの楽しさも感じてもらえたらと思います。

活動中の川や水辺の名称

京都府南丹市美山町 芦生自然学校

よいとこ探しキーワード メモ！



淡海の川づくりフォーラム

滋賀県立大学 瀧研究室
泉野珠穂

小さな自然再生～バーブ工で落ち葉を溜める～

📍 おところ
京都府南丹市美山町
由良川上流部 美山川

川と落ち葉の関係とは：？

落ち葉は森からの恵み🍁
川の生態系にとっても
重要な役割を果たしている

計算ソフトと模型を
使って川の流れを
シミュレーション🔄

だから川の中に
落ち葉を溜めよう！

これが「バーブ」工
川の流れが変わる

みんなで石を積んで
バーブ工を造る👷

果たして、
落ち葉はちゃんと
溜まるのか？！

C-3 小さな自然再生ネットワーク

活動のキーワード

- ① 道路課に申請し水路の確保 ② 栗東市都市公園課との交渉 ③ 農業委員会との交渉

発表内容

次の取り組みを行っています。今年は蛇が池への取り組みについて発表します。

1. 中ノ井川に生息するホタルの生息域を拡大する。
2. 大宝神社の蛇が池の住民の憩いの場、ビオトープとして再生する。

<取り組み内容>行政に働きかけ、実現の道半ば(?)の状態を発表します。

- ・道路課に申請し、大門野尻線の道路工事に伴い蛇が池への水路を整備出来た。
- ・蛇が池を市民の憩いの場、ビオトープに再生するため都市公園課と協議中。
- ・蛇が池への給水のため、農業委員会と協議中

活動中の川や水辺の名称

中ノ井川、蛇が池（栗東市大宝神社付近）

活動内容

蛇が池を憩いの場、ビオトープとして再生する

よいところ探しキーワード メモ！



「小さな自然再生ネットワーク」の活動経過

2018年2月：次の2テーマで「中ノ井川にホタルを」で初登場。その後、ホタルの生息が分かり「小さな自然再生ネットワーク」に名称を変更する。

- 活動テーマ
1. 〈当初〉中ノ井川にホタルを生息させる。→〈変更〉中ノ井川のホタル生息域を広げる。
 2. 大宝神社の「蛇が池」をビオトープ、住民の憩いの場として復活させる。

2018年6月 ホタルの生息を確認



2018年11月 大宝小学校 中ノ井川クラブと中ノ井川の生き物調べを実施。



2018年10月 栗東市 道路河川課と協議し、下図の堰3から「蛇が池」へ給水され、堰2から排水していることが判明。農業用水を「蛇が池」へ給水するため、利権者の調査を開始する。



2018年11月 大門野尻線の道路が開通する前に堰3から「蛇が池」への水路の確保を栗東市 道路河川課に要望。

2019年11月 大門野尻線の道路下に「蛇が池」への水路完成



2018年10月 「蛇が池」の水が枯れる。



2018年10月 台風で「蛇が池」の周辺の木々が倒れる。



2018年10月から 栗東市 都市公園課公園係と農業委員に「蛇が池」をビオトープ、憩いの場に復活できるように交渉中。



C-4 新大宮川を美しくする会

活動のキーワード

- ① 川を学び ② 川を楽しむ ③ 川を愛そう

発表内容

2020年8月から9回開催している「新大宮川学連続講座～川を学び、楽しみ、愛そう～」と活動紹介 ●8月1日：新大宮川を知ろう～その成り立ちと構造～ ●8月29日：新大宮川にアユ・ビワマスを取り戻せ！～魚道の復活・魚類調査活動～ ●9月12日：川の自然と防災 ●10月17日：川に生える草木を知ろう！ ●11月14日：まちを花いっぱいにして！ ●12月5日：不法投棄の未然防止！～ごみ拾いボランティア体験～ ●1月16日：川をホタルいっぱいにして！～米原・天野川の取組とホタルの幼虫観察～ ●2月20日：琵琶湖の冬鳥を見よう！～新大宮川周辺のバードウォッチング～ ●2月27日（予定）：川に木々を植えよう！～植樹のポイントと体験～

活動中の川や水辺の名称

新大宮川（一級河川大宮川（放水路）・足洗川） 大津市比叡辻

活動内容

比叡山のふもと、琵琶湖に面する大津市比叡辻で2016年に設立した河川愛護団体「新大宮川を美しくする会」は、通称「新大宮川」（一級河川大宮川（放水路）・足洗川の下流部）とその周辺の環境・美化清掃活動をしている団体です。

1. 設立：2016（平成28）年4月1日
2. 目的：新大宮川（新大宮川、新足洗川と関連する水系の河川）（以下「河川」という）の美化と周辺景観改善、水質の浄化を進め、快適で良好な水辺環境や関連する文化活動の啓発・発展を率先して活動することを目的とする。
3. 事業：（1）河川愛護の実践事業（2）河川の美化および周辺景観改善、水質の浄化などに関する啓発事業（3）河川を通じての交流事業（4）河川環境の調査・研究事業（5）河川に関わる他のNPO組織、行政機関、団体との連携事業（6）その他本会の目的を達成するために必要な事業
4. 2019（令和元）年度活動実績（1）草刈り・ゴミ拾い（23回）（2）花壇づくり（7回）（3）植樹（3回）（4）魚道づくり（2回）（5）水質調査・魚類調査（1回）



よいとこ探しキーワード メモ！

「新大宮川学連続講座」と活動紹介 新大宮川を美しくする会

Q1. 新大宮川を美しくする会って？



A1. 比叡山のふもと、琵琶湖に面する大津市比叡辻で2016年に設立した河川愛護団体です。通称「新大宮川」(一級河川大宮川(放水路)・足洗川の下流部)とその周辺の環境・美化清掃活動をしています。

Q2. 新大宮川を美しくする会は、具体的にどんな活動をしているの？

A2. 新大宮川周辺で、草刈りやゴミ拾い、花壇づくり、植樹、魚道づくり、水質調査・魚類調査などを行っています。



Q3. 新大宮川学連続講座を始めたきっかけは？

A3. 新大宮川を美しくする会の活動の参加者が少ない、活動の種類によって参加者が異なる、参加人数にバラツキがある。そもそも、多くの人々が活動を知らないし、川に興味がないのをどうにかしたいと思いました。

新大宮川学連続講座



Q4. 新大宮川学連続講座を受講する人にどうして欲しいの？

A4. 川を学んで欲しい、知って欲しい。それで、川の何が面白いのか、何が問題かを気づいて欲しい。そうして、活動に興味を持つようになって、参加して楽しんで欲しい。さらに、川を愛する、愛おしく思うようになって、自分から進んで興味ある活動、事業を企画、実施するパートナーになって欲しいと思っています。

新大宮川で見つけた
ホタルの幼虫



問合せ先:
新大宮川を美しくする会 会長 山本克也
E-mail: shinomiya@shinomiya.com



ブログ

C-5 家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト

活動のキーワード

- ① ビワマス ② 多様な主体の協働 ③ 産卵床造成・魚道設置・市民調査

発表内容

琵琶湖から産卵のため遡上するビワマスをシンボルとし、ビワマスが遡上、産卵、繁殖できる環境を整備しています。市民、企業、行政、専門家らがタッグを組み、それぞれにしかできない役割を担っています。2015年に結成し、これまで産卵床の造成、魚道の設置、市民による調査・監視、フォーラムの開催といった活動を実施してきました。活動開始初年度からビワマスの稚魚が確認され、2018年度には初めてビワマスが魚道を遡上する姿が確認されました。今年度は過去最高のビワマスの遡上が確認されたほか、地域と協働した密漁対策や土木事務所との連携等についても大きな効果が出ました。

活動中の川や水辺の名称

家棟川（野洲市）

活動内容

ビワマスが遡上、産卵、繁殖できる環境の整備

よいとこ探しキーワード メモ！





家棟川・童子川・中ノ池川に ビワマスを戻すプロジェクト



秋期に琵琶湖から遡上する**ビワマスを家棟川のシンボル**とし、**ビワマスが遡上、産卵、繁殖できる環境を整える**ことなどを通じて、家棟川およびその支流河川の自然環境を再生し、ひいては野洲市のまちづくりや活性化につなげていきます。平成27年8月に結成されました。

場所

野洲市域を流れる家棟川の上流～下流で活動を行っています。これまで23種類の在来魚が確認されていて、これは県内河川屈指です。



メンバー

市民、企業、専門家、行政、学生等が協働し、それぞれにしかできない役割を果たしながら検討を進めています。地元などの協力を得ながら活動しており、さらに仲間を増やしながらか活動を展開していきたいと考えています。

市民
富波乙自治会農地水環境保全委員
中ノ池・童子川生態調査委員
地元自治会関係者
祇王まちづくり推進協議会
童子川・家棟川河川愛護会
野洲市里川づくり委員会
NPO家棟川流域観光船

企業等
TOTO株式会社
滋賀県立大学（学生）
立命館大学（学生）

行政
野洲市環境課
滋賀県琵琶湖保全再生課
滋賀県南部土木事務所

専門家
滋賀県水産課
滋賀県水産試験場
琵琶湖環境科学研究センター

(外部協力者)
徳島大学 浜野教授
兵庫県立大学 三橋講師
滋賀県立大学 齋藤教授

活動

ビワマスが遡上、産卵、繁殖できる環境の再生に向けて、これまで主に3つの活動を実施してきました。ビワマスの稚魚が初めて発見されたり、設置した魚道を遡上するなど、すでに多くの成果が得られています。

活動①：産卵床の造成

河床に礫を入れ、ビワマスが産卵できる環境を整えました。すると、遡上してきたビワマスが産卵床を使う姿が何度も目撃され、春にはその周辺で多くの稚魚を確認しました！



ビワマスが産卵行動！



活動開始以降、毎年稚魚を発見！

活動②：魚道の設置

家棟川の支流、中ノ池川にある高低差3.2mの落差工がビワマスの遡上を阻害していることから、魚道の設置を行いました。平成30年度にはついにビワマスが遡上しました！



念願のビワマスが遡上！

鋼製魚道完成！

活動③：調査と監視

ビワマスの遡上状況を確認するとともに、違法な採捕の監視を行いました。降雨とともに遡上するビワマスの特性が明らかになりました。

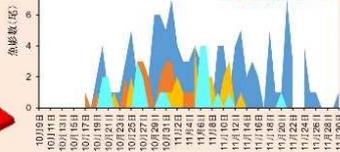
毎日の遡上調査・監視



調査票の記録

調査日時	調査地点	調査者	魚数(匹)	備考
10/10/10	中ノ池川	田中	0	
10/10/11	中ノ池川	田中	0	
10/10/12	中ノ池川	田中	0	
10/10/13	中ノ池川	田中	0	
10/10/14	中ノ池川	田中	0	
10/10/15	中ノ池川	田中	0	
10/10/16	中ノ池川	田中	0	
10/10/17	中ノ池川	田中	0	
10/10/18	中ノ池川	田中	0	
10/10/19	中ノ池川	田中	0	
10/10/20	中ノ池川	田中	0	
10/10/21	中ノ池川	田中	0	
10/10/22	中ノ池川	田中	0	
10/10/23	中ノ池川	田中	0	
10/10/24	中ノ池川	田中	0	
10/10/25	中ノ池川	田中	0	
10/10/26	中ノ池川	田中	0	
10/10/27	中ノ池川	田中	0	
10/10/28	中ノ池川	田中	0	
10/10/29	中ノ池川	田中	0	
10/10/30	中ノ池川	田中	0	
10/10/31	中ノ池川	田中	0	
10/11/1	中ノ池川	田中	0	
10/11/2	中ノ池川	田中	0	
10/11/3	中ノ池川	田中	0	
10/11/4	中ノ池川	田中	0	
10/11/5	中ノ池川	田中	0	
10/11/6	中ノ池川	田中	0	
10/11/7	中ノ池川	田中	0	
10/11/8	中ノ池川	田中	0	
10/11/9	中ノ池川	田中	0	
10/11/10	中ノ池川	田中	0	
10/11/11	中ノ池川	田中	0	
10/11/12	中ノ池川	田中	0	
10/11/13	中ノ池川	田中	0	
10/11/14	中ノ池川	田中	0	
10/11/15	中ノ池川	田中	0	
10/11/16	中ノ池川	田中	0	
10/11/17	中ノ池川	田中	0	
10/11/18	中ノ池川	田中	0	
10/11/19	中ノ池川	田中	0	
10/11/20	中ノ池川	田中	0	
10/11/21	中ノ池川	田中	0	
10/11/22	中ノ池川	田中	0	
10/11/23	中ノ池川	田中	0	
10/11/24	中ノ池川	田中	0	
10/11/25	中ノ池川	田中	0	
10/11/26	中ノ池川	田中	0	
10/11/27	中ノ池川	田中	0	
10/11/28	中ノ池川	田中	0	
10/11/29	中ノ池川	田中	0	
10/11/30	中ノ池川	田中	0	
10/12/1	中ノ池川	田中	0	
10/12/2	中ノ池川	田中	0	
10/12/3	中ノ池川	田中	0	
10/12/4	中ノ池川	田中	0	
10/12/5	中ノ池川	田中	0	
10/12/6	中ノ池川	田中	0	
10/12/7	中ノ池川	田中	0	
10/12/8	中ノ池川	田中	0	
10/12/9	中ノ池川	田中	0	
10/12/10	中ノ池川	田中	0	
10/12/11	中ノ池川	田中	0	
10/12/12	中ノ池川	田中	0	
10/12/13	中ノ池川	田中	0	
10/12/14	中ノ池川	田中	0	
10/12/15	中ノ池川	田中	0	
10/12/16	中ノ池川	田中	0	
10/12/17	中ノ池川	田中	0	
10/12/18	中ノ池川	田中	0	
10/12/19	中ノ池川	田中	0	
10/12/20	中ノ池川	田中	0	
10/12/21	中ノ池川	田中	0	
10/12/22	中ノ池川	田中	0	
10/12/23	中ノ池川	田中	0	
10/12/24	中ノ池川	田中	0	
10/12/25	中ノ池川	田中	0	
10/12/26	中ノ池川	田中	0	
10/12/27	中ノ池川	田中	0	
10/12/28	中ノ池川	田中	0	
10/12/29	中ノ池川	田中	0	
10/12/30	中ノ池川	田中	0	
10/12/31	中ノ池川	田中	0	

ビワマス遡上状況が明らかに！



10. 日本一のびわ湖を守るご当地キャラ三人衆（五十音順）



あゆむ / マザーレイクフォーラムイメージキャラクター

マザーレイクを旅するさすらいの鮎。のんびり屋で休憩が多い。夢は川にのぼって大きくなることだが、びわ湖で小さく育つのも悪くないと思いつている。好きなものは石に付いた藻。苦手なものは泥



げっすい〜 / 琵琶湖流域下水道イメージキャラクター

流域下水道を守る謎の妖精。水をきれいにするのが好きで、琵琶湖から日本中へと旅して回っています。

泳ぐことや掃除・洗濯が得意です。苦手なものはてんぷら油。



ちっすいくん / 流域治水政策イメージキャラクター

流域治水の申し子。腰についている4つの玉は、水害から身を守るための4つのアイテムで、「ながす」・「ためる」・「そなえる」・「とどめる」と呼んでいます。

だいたいホワっと、たまにはピリッと、みんなと一緒に考えてみんなを見守る水防災の妖精。

水防災の妖精だけに、大好きなのは耐水性の気持ちに切り替わる瞬間の眩しさ。いまは扁平でも、出すとこ出して魅惑のマーメイドになるのが夢。

MEMO 欄